

# 白砂地区景観環境保全事業 『きらきら景観・きらきらびと』

浜田市立白砂公民館

## 1 白砂地区の概要

白砂地区は日本海に面しており、国道9号線を挟んで海側2集落、山側2集落合計4集落で成っている。人口298人、高齢化率36.9%の浜田市三隅自治区で最小の地区である。道の駅『ゆうひパーク三隅』から見える日本海の景観はJRの線路が重なるスポットである為、写真愛好家からも人気が高い。

また、赤土と海風に恵まれている風土から西条柿の生産地である。地域内で野菜農園を営んでいる方や自家消費用の果実や野菜を作っている家が多い為、猪や熊等にとってエサが豊富になり、有害鳥獣の出没地域として農作物の被害が出ている地域である。

高齢化が進んでおり、小学生を持つ家庭は5件と少ない。地区行事や集落行事へ若者の参画が少ない。

生活を支える機関が地域には無く、学校や病院まで遠く、距離がある為、車やバスで移動する必要がある。地域の中に位置する当館の利用の際でも徒歩で来られる方はほとんどいない。住民が集まりにくい地域である。

## 2 事業の趣旨

景観を利用した観光の場作りを地域内外で一緒に行うことで地域住民が地域に在る景色に誇りを感じ、景観を守り続けていく気運の醸成と参加者意識の向上を図る。できた場所を今後の利用として観光、健康作り、学校支援に繋げ、新たな動きを作る。

若者への参画を促し、世代間交流を通して地域の自然や人の魅力を知ってもらう機会にする。今後の白砂地域を担い、持続していく人材育成を行う。

地元住民が6次産業の創出、道の駅の活性化に携わり、まちづくりへの学びに繋げる。

## 3 具体的な取組内容

白砂まちづくり委員会の第2次中期計画である『JR沿線の景観保全』『新市道の景観保全』『有害鳥獣からの住環境保全』と協働して行う。

### (ア) JR線景観保全

高速道路の開通に伴い交通量が少なくなることが予想される為、道の駅への集客を促進する。CMに起用されるほど美しい景観を守り続けられる様に現在の整備と今後の維持管理の意識啓発を地元住民に行った。平成29年6月からトワイライトエクスプレス瑞風の運行開始を機に地元とJRが協働して推進する。

- ①地元自治会、JRとの安全協議
- ②伐採・除草作業
- ③浜田おもてなし連絡会の発足
- ④デジカメ講習会
- ⑤恩返しボランティア
- ⑥白砂地区の名所写真展
- ⑦歓迎瑞風ボード
- ⑧BB小鍋



沿線伐採作業の様子

### 【今後の課題と希望展開】

- ・30代～40代が地域に少ない為、持続していく事が困難になると予想される。労働をカバーする為に外部を巻き込むボランティアの位置づけを考えていく。
- ・JR関連の企画を展開し更に山陰を魅力化していく。
- ・写真や動画などで地域の記録を残す。またSNS等の媒体で広報を行う。

・保育園を含めた学校教育と連携した事業を組み、子供達への学びに繋げる。

・手間替えの復活へのきっかけになるよう、人との絆作りをしていく。

#### (イ) 新市道景観保全

平成 24 年度、開通した市道に桜の苗木を植樹した。今回はその桜木に沿って黄水仙の植栽を 400m (5000 球) 行った。4 集落における子供から大人までの 47 人の参加があった。住民が日常で通る道の景観作りを行い、健康や癒しの場を作っていく。

①専門家と住民の打合せ

②地元草刈作業、除草作業、掘削作業

③球根植え付け

④施肥、猪対策 (忌避剤) 作業



黄水仙植え付け作業の様子

#### 【今後の課題と希望展開】

・住民の心の中には草刈作業等、労働を今後も続けていけるのか不安がある。JR 沿線の景観事業と同様に労働を軽減させるボランティア組織の仕組み作りを考えていく。

・健康ウォーキングなど景観を楽しむ事業を展開し、労働と健康を組み合わせる。

・健康作り、癒しの場所として提供していく。

#### (ウ) 有害鳥獣からの住環境保全

畑を荒らす猪を捕獲できる人材を育成し、安心安全な地域づくりを行っていく。3 年前に当館事業で開催した猪檻作りに参加した方が今回の講師になり変わることで、檻を作れる人と教えることができる人を増やし、知識を循環していく。

狩猟紙芝居作りでは農林振興センター、碧い石見の芸術祭、女性狩猟免許取得者が主体となって紙芝居を手掛け、白砂住民・三隅小児童クラブ・井野っ子クラブが色塗りを行った。地区敬老会や町のイベントで披露した。

猪料理試食会では若手女子に声をかけ、メニュー決めから実施まで行った。地域のお祭りで出店し、女子目線から地域の盛り上げを図った。本人達にも地域での役割があることの気づき、人の役に立つこと等を感じてもらった。地域デビューのきっかけの場となった。

事業報告会では地域の方に事業の内容を歌詞に載せて歌ってもらい、CD にした。みんなで作った事業を忘れずに白砂地域の応援団として仲間意識を持ってもらう。

①猪檻 4 基完成

②狩猟をテーマにした紙芝居作り

③猪肉料理をお祭りで試食販売

④事業報告会、CD 完成



猪檻つくり・紙芝居を読み終えた様子

#### 【今後の課題と希望展開】

・猪檻を仕掛けたが、捕獲後の対応に困ったので狩猟法令の学習会を開催する。

・紙芝居の読み手が少ないので読み手の育成と少人数でも対応できるよう媒体を増やす。

・成果物を披露する場が少ないので地域内から広め、広報していく。

・議論の場を作り続ける必要がある。

・『住んでよかったと思えるまちづくり』を住民と共に推進していきたい。

(文責：佐々木 瑞恵)